

令和4年度（2022年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	摂津市商工会		
	代表者職・氏名	会長 中川 廣司		
	所在地	〒566-0021 大阪府摂津市南千里丘4-35-3階		
	担当者	職・氏名	事務局長 島内 嘉紀	
		連絡先	TEL（直通）：	06-6318-2800
			Fax：	06-6318-2555
E-mail：			info@settsu-sci.jp	
①設立年月日	1962/6/19			
②職員数 (うち経営指導員数)	9名（経営指導員9名）（令和5年3月31日現在）			
③所管地域	摂津市			
④管内事業所数	4,082 （平成28年度経済センサス）			
⑤管内小規模事業者数	2,806 （平成28年度経済センサス）			
⑥会員数（組織率）	1904 （令和5年3月31日現在）			
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること				
□主な事業概要（定款記載事項等）				
<p>① 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。</p> <p>② 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。</p> <p>③ 商工業に関する調査研究を行うこと。</p> <p>④ 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。</p> <p>⑤ 展示会、共進会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。</p> <p>⑥ 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。</p> <p>⑦ 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。</p> <p>⑧ 商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。</p> <p>⑨ 行政庁等の諮問に応じて答申すること。</p> <p>⑩ 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。</p> <p>⑪ 商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む）を処理すること。</p> <p>⑫ 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。</p> <p>⑬ 商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。</p> <p>⑭ 輸出品の原産地証明を行うこと。</p> <p>⑮ 前各号に掲げるもののほか、本商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。</p>				

<p>(1) 事業の目標</p>
<p>小規模事業者の経営体質の改善や財務基盤の強化とビジネスモデルの再構築を支援して、経営力の向上を目指します。また新たな需要を開拓に寄与する事業としてビジネスチャンスの創出に向けたビジネスマッチングフェアの開催や展示会への出展を促進することで、事業所間交流連携を促進します。事業計画策定支援において創業者や事業承継者の取組支援を強化することで、廃業を減少させ、創業を増加させることで商工業の活性化を目指します。摂津で生産された商品や技術を認定する摂津ブランドを展開することで販路開拓支援や摂津市内の優れた技術を持つ事業者と健都イノベーションパークとの連携や医療ヘルスケア分野への進出支援など地域経済の持続的な発展を目指していきます。また摂津市と連携して事業継続力強化支援計画を作成するとともに、小規模事業者に対して事業者BCP策定を支援する。</p>
<p>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</p>
<p>◆経営相談支援事業では、新型コロナウイルス感染症や原材料、燃料高の影響を受けた事業者を中心に融資や資金繰り相談はじめ、人材採用や労務環境の改善、新商品・新サービスの開発や販路開拓、新分野展開など事業計画作成、令和5年10月に導入されるインボイス制度などへの取り組みを支援した。また、高度な支援が必要となる相談については、専門家と連携して支援した。</p> <p>◆専門相談支援事業では、コロナの影響や企業が抱える専門的な課題の解決に向けて専門家を活用できるように、専門相談のPRに努めるとともに、原則として毎月1回の相談日を設けた。また、法律相談など急を要する相談内容がある場合は電話相談などで対応をした。</p> <p>◆地域活性化事業については、感染対策と事業所支援を両立させるために、各種セミナーを会場とオンラインで参加できるようにした。交流会については感染状況が収まったことから、会場で実施することができた。2025年大阪・関西万博を見据えローカル経済の可能性から新規事業の発掘につなげる創業、承継経営者発掘育成交流会、摂津市の地域特性に応じた水害対策を中心とした事業継続計画（BCP）策定セミナー、後継者や人材に悩む事業者の事業承継、人材育成や地域就労を支援する事業を実施した。小売・飲食業については、小規模店舗参加型スクラッチカード事業や摂津まちゼミなど個店の魅力を情報発信することで、魅力的な店舗を増やしていくとともに、創業者の新規参入を促進する事業を実施した。</p>
<p>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</p>
<p>◆経営相談事業では記帳支援が62件と最も多く、個人事業主を中心にインボイス制度の説明から具体的な申請方法まで丁寧に説明することで制度について良く理解をしていただいた。</p> <p>◆専門相談支援事業では、専門家の活用により専門的で高度な問題の解決に取り組み、企業の健全な経営に寄与できた。</p> <p>◆地域活性化事業ではコロナ後の消費回復に対応してスクラッチカードやまちゼミなどの販売促進事業を実施することで、事業者の売上拡大と地域商業の活性化に貢献した。摂津ブランド事業は3社認定し事業所と共に販路開拓に取り組むとともにクラウドファンディングやDX推進など事業者の事業継続・変革に必要な情報を提供することで、新たな事業展開に取り組むきっかけを提供した。ビジネスマッチングフェアなど交流会をリアルに開催することにより取引拡大に取り組んだ。</p>
<p>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</p>
<p>◆経営相談支援事業では、新型コロナウイルス感染症の影響や原材料高による売上・利益減少、資金繰り悪化など持続的な経営を行っていく上で大きな課題となっている相談が多くなってきている。令和5年10月から導入されるインボイス制度や人材・後継者不足など人材確保や事業承継を支援する必要があり、記帳支援や事業承継やBCP策定など支援していきたい。</p> <p>◆専門相談事業においては取引や労働者とのトラブルなど法律と労務相談が多く、コロナの影響から立ち直れない企業も多く、資金繰り相談や資金調達のニーズは増加する。</p> <p>◆地域活性化事業のセミナー関係においては、提供した情報が今後どのような形で活用されるか今後のフォローが課題である。イベント関係については、交流会で多くの新規の連携先や顧客を獲得のきっかけを提供した後の持続的なフォローが課題である。南海トラフ巨大地震など災害リスクの周知とそれに対応できる事業者BCP策定支援数を増加していくことも課題である。</p>
<p>(5) 次年度の取り組み</p>
<p>◆経営相談支援事業では、小規模事業者の経営体質の改善や財務基盤の強化とコロナや円安による物価高などの経済環境の変化に対応できる新たな事業展開などのビジネスモデル再構築を支援して、経営力の向上を目指す。また小規模事業者に対する事業者BCP策定を支援していくとともに求人難や事業承継などの課題に積極的に取り組んでいきたい。</p> <p>◆専門相談支援事業では、法務・労務などをはじめ、全ての経営項目で問題を抱えている事業者がもっとあると考えられるので、周知の徹底と活用促進に努め、事業者のニーズに合ったきめ細やかな支援を行うことに努めるとともに、経営相談事業への拡充を図る。</p> <p>◆地域活性化事業では、市行政等と連携し、事業所ニーズの高い情報をタイムリーに提供するとともにビジネスチャンスの提供等を行い、企業経営の安定と発展、地域活性化を目指すとともに、課題解決への具体的な取り組みができるよう支援する。</p>

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 摂津市商工会

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

新型コロナウイルス感染症や円安による原材料高や燃料高の影響を大きく受けた業種を中心に、融資や資金繰りに関する相談が多かった。また人材不足に悩む製造業やサービス業などでも人材採用や労務環境についての労務支援、新商品や新サービスの開発や販路開拓や新分野展開など事業計画作成に対する支援ニーズも非常に高かった。また令和5年10月に導入されるインボイス制度についての相談もかなり多かった。市内小規模事業者の抱える課題の解決に向けての提案に取り組むとともに、各種支援機関との連携を図り、事業所が抱える経営課題の中でも、高度・複雑な課題に対応するために専門家を活用し、定期的な相談だけでなく経営者の要望に随時対応できるような体制作りにより小規模事業者の抱える課題を抽出し、専門家のアドバイスによる問題の迅速な解決と経営の改善に役立てた。ワンストップ的な機能を果たすことによって、企業の経営の安定・発展を目指すとともに、経営革新や事業承継、創業、新事業展開など、高度で専門的な経営課題への対応を迅速に支援することにより、商工会の信頼を高めることができた。

【代表事例】【H企業（建設業）】 「将来を見据えた顧客・社員に魅力ある会社づくり」当該事業所は、摂津市内を中心に屋根の防水・外壁塗装を営んでいる。事業拡大に積極的であり、一般顧客向けの「塗り替えセミナー」を実施予定としている。社長含め現在社員2名のため、人的リソースが避けられないこと、セミナーの実施に向けた周知啓発について費用対効果を分析することが必要となり、事業計画書の作成が必要となった。事業計画書の作成を通じ、自社のSWOT分析やPDC Aサイクルについて学んでいただき、自社の分析を行った。その一方で、親族の社員が1名退職することとなり、新たに親族でない社員を雇用することとなったが、それを契機に社員に魅力ある企業・顧客にも魅力のある企業を作りたいという思いが強くなった。そのため、社会保険労務士を通じ就業規則の策定を行い、さらにBCP策定を通じ災害に強い会社づくりに取り組んだ。現在社員5名以下の小規模事業であるが、今だけを考えず将来の社員・顧客に魅力ある企業になるよう、社長が積極的に情報収集と自己研鑽を行っている。今後も、社員を増やしていく方針であるため、綿密に連携を取りながら支援を実施していく予定である。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	280	290	103.6%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	110	69	62.7%	4
金融支援（紹介型）	支援数	20	15	75.0%	4
金融支援（経営指導型）	支援数	24	23	95.8%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	0	0		
資金繰り計画作成支援	事業所	0	0		
記帳支援	事業所	27	62	229.6%	5
労務支援	支援数	30	26	86.7%	4
人材育成計画作成支援	事業所	0	0		
マーケティング力向上支援	事業所	2	0	0.0%	
販路開拓支援	支援数	50	57	114.0%	5
事業計画作成支援	支援数	30	31	103.3%	5
創業支援	事業所	5	3	60.0%	4
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	20	20	100.0%	5
コスト削減計画作成支援	事業所	0	2		4
財務分析支援	事業所	0	30		5
5S支援	事業所	0	0		
IT化支援	事業所	2	3	150.0%	5
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		
事業承継支援	事業所	10	4	40.0%	3
災害時対応支援	事業所	0	0		
フォローアップ支援	事業所	70	70	100.0%	5
結果報告	事業所	280	290	103.6%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

事業所が抱えるさまざまな法律・税務・労務・経営の問題の中でも、高度かつ専門的な課題に対応するために専門家を活用し、定期的な相談だけでなく経営者の要望に随時対応できるような体制作りをし、専門家の具体的なアドバイスにより事業所がかかえる高度な課題を迅速に解決し、企業の経営の改善と経営基盤の強化に役立てることができた。

また、専門的分野の支援から事業所の抱える問題が軽減でき、内容としては満足いく成果が得られている。相談内容は新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少の資金繰り相談を中心に取引トラブルや相続等の法務相談、従業員トラブルや労働環境の改善などの労務相談が多かった。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談支援	継続	回数	9	15	166.7%	5
労務相談支援	継続	回数	6	6	100.0%	5
経営相談支援	継続	回数	5	5	100.0%	5
その他相談支援	継続	回数	2	6	300.0%	5

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>◆吹田商工会議所、高槻商工会議所、茨木商工会議所、島本町商工会との5か所の広域で実施した「創業・承継経営者発掘育成交流会」では2025大阪・関西万博を見据え、ローカル経済の可能性を事例を交えながら「共創」について探索し、地域課題と地域企業の課題とまちのめざすべき共通のビジョンをつくることができ、新たな事業の発掘につながり、51名の参加で研修内容も好評を得た。</p> <p>◆商業者の支援においては、直接または団体を通じての情報提供等の支援を行うとともに、販売促進イベントとして小規模店舗参加型スクラッチカード事業を199店舗の参加で実施した。また、摂津まちゼミには33店の参加で、新型コロナウイルス感染状況が落ち着いてきた2月に開催、小規模事業者には非常に効果の高い販路開拓事業となっている。</p> <p>◆摂津ブランドでは摂津で製造された最終製品を「摂津優品（せっつすぐれもん）」として、新規に3商品を認定し合計19商品となり、新たに「摂津優技（せっつすぐれわざ）」として一定基準を満たした技術を持つ企業を1社認定してホームページで発信するとともに、ガンバ大阪のイベントや大阪勧業展に出展して、オンラインとリアルの両方を活用した販路開拓を実施した。</p> <p>◆BCP策定セミナーはコロナ禍という厳しい状況の中で、会場とオンラインの両方で集客した結果、22社の参加で摂津市の地域特性に応じた災害や感染症や南海トラフ巨大地震などの事業者が講じるべき防災・減災対策の重要性を認識してもらった。</p> <p>◆労働法改正セミナーは会場とオンラインを併用して全3回開催して70社の参加で、パワーハラスメント防止義務及び改正育児介護法について具体的な事例や就業規則の変更方法を説明して今後の従業員の定着比率を上げるために必要な内容を抑えてもらうことができた。</p> <p>◆非対面ビジネスを通じたDX推進セミナーは、無料でも使えるツールの説明から作業効率を上げるノウハウやDXを通じた新事業展開や社員のモチベーション向上・顧客ファンづくりの取り組みやSNSやGoogleマイビジネスを活用と顧客獲得に効果的なキーワードWEB検索などの実践方法を学びDX導入の重要性を認識した。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	摂津市ビジネスマッチング交流会	60	53	88.3%	100%	自社紹介発表又は商談できた事業所数	25%	45%	180%	5
○	BCP策定セミナー	22	18.5	84.1%	94.1%	事業継続計画等の策定企業数	22	18.5	84.1%	5
○	摂津市地域就労支援事業	42	27	64.3%	92.6%	雇用に関する知識を得ることが出来た	70%	100%	142.9%	5
	摂津ブランド事業	18	18	100%	100%	事業計画書作成に伴う自社及び自社製品の強みを理解し、自社の知名度アップと新規顧客開拓、事業者間連携などへの意識向上を目指す。	2	3	150%	5
	小規模店舗参加型スクラッチカード事業	180	195	108.3%	79.5%	期間中、来客が増えた事業所の割合	50%	50.7%	101.4%	5
	摂津まちゼミ（摂津市商業活性化事業）	48	71.5	149.0%	84.5%	販売促進に対する意識向上ができた事業所	70%	85.3%	121.9%	5
	製造業経営者支援事業	13	18	138.5%	94.4%	※事業が数社に発生しているとの状況（アンケート）	70%	83%	118.6%	5
○	障がい者 求人・求職マッチング	10	9	90.0%	100%	参加企業のうち採用に至った企業数	2	3	150%	5
○	摂津市おしごとフェア	11	8	72.7%	100%	参加企業のうち採用に至った企業数	3	3	100%	5
○	事業計画策定・実施支援事業	20	15	75.0%	93.3%	※事業継続チャレンジへの参加がなかった事業所の割合	14	6	42.9%	3
○	事業承継セミナー	45	62	137.8%	96.8%	知的資産経営および、知的資産を掘り起こす方法に対する理解度	70%	96.8%	138.3%	5
(2) 広域事業（幹事事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	創業・承継経営者発掘育成交流会	40	51	127.5%	98%	事業改善又は新規事業取組に対する意識改革率	70%	100%	142.9%	5
○	クラウドファンディング活用セミナー	30	23.5	78.3%	97.8%	参加企業のうちクラウドファンディング活用検討に至った企業数	10	20.5	205%	5
○	人財力強化（人材育成）事業	20	10.5	52.5%	100%	セミナーの内容を自社で取り組むようになった事業所の割合	70%	95.2%	136%	5
○	労働法改正対応セミナー～労働担当者が知っておくべき最新法令～	55	70	127.3%	98.4%	必要の労務知識について理解できた事業者の割合	70%	75%	107.1%	5
○	人材の定着を図るための求人票作成セミナー	30	56.5	188.3%	81.4%	必要人材の定着についての理解できた事業者の割合	70%	80.5%	115%	5
○	非対面ビジネスを通じたDX推進セミナー	30	32	106.7%	96.9%	参加企業のうちDX導入の検討に至った事業所	10	32	320%	5
○	三市一町合同就職面接会	28	29	103.6%	72.4%	参加企業のうち採用に至った企業数	5	6	120%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

摂津市商工会

事業名		摂津市ビジネスマッチング交流会							
想定する実施期間		2016 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	摂津市は、市域の面積の半分以上が工業や準工業地域で、現在、 4,000社 を上回る事業所が市内で活動する産業都市であるが、従業員が9人未満の事業所が全体の 73% を占めており、事業所間の連携を自発的にとっていくのは難しい。そこで、地域総合経済団体である商工会が行政・金融機関等と連携して、ビジネスマッチング交流会を開催することにより、新たな販路開拓及び事業所間の連携、相互の経営力の向上等を図ることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内の事業所(全業種)							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>■開催日時：令和5年2月10日(月)15:00～18:00</p> <p>■会場：摂津市立コミュニティプラザ</p> <p>■講演・交流会 ・参加者数：56社56名</p> <p>市内企業の連携・販路開拓につながる機会として、摂津市ビジネスマッチングフェアを摂津市・摂津市商工会・北おおさか信用金庫・株式会社しん総合研究所で開催した。参加者募集時には会場開催として募集を行ったが新型コロナウイルス感染症の感染者数が急激に増加したため、急遽オンライン開催へ変更した。</p> <p>第I部では、①『減塩食品の市場の動向とかるしお認定商品の店舗事例について』と②『ネジ1本からライフスタイルをデザインする会社へ「友安経済圏・カラーズサークル」から学ぶD2Cブランディング』をテーマに2者に講演いただいた。</p> <p>第II部では、交流会・商談会、企業紹介プレゼンを開催。企業商談会は事前に配布している一覧を基に商談希望先を挙げていただき商談を実施。企業紹介プレゼンは、プレゼン希望の8社にプロジェクターを使用してプレゼンをしていただいた。</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	摂津市、北おおさか信用金庫、(株)きたしん総合研究所、摂津市商工会の4者で、企画、参加企業募集、会場設営、当日開催と共同で実施した。							
	④相談相乗	交流も目的としているので、近隣の事業所と交流することによって、新たな連携や販路開拓も目指す。また、専門家による相談事業にもつなげる。							
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	60.0	総支援企業数(実績)	53.0	支援実績率	88.3%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>摂津市ビジネスマッチングフェアは9回目の開催となった。前回前回と新型コロナウイルスの影響でオンライン開催となっていたが、今年度は会場で開催することができた。お申込みは107名いただいていたが、当日参加(アンケート回収数)は53名となった。アンケート内容は、53名中28名が「満足」、25名が「ほぼ満足」で満足度100%で良好であった。また参加の目的は「講演に興味があった」が18名で一番多く、次いで「人脈の拡大」が16名、「ビジネスパートナーを探す」が6名、「店舗や商品の知名度向上」「新商品のPR」がそれぞれ1名ずつ、「その他」が2名であった。交流会では活発に名刺交換が行われており、企業プレゼンも8社に発表していただけた。事業内容をPRできたことで満足いただけた。商談につながりそうな事業者が見つかった企業も17社あり連携のきっかけを提供できたのが成果である。</p> <p>講演企業についての満足度も高く、講演企業①の満足度は83%、講演企業②の満足度は100%であった。</p>							
		代表指標	自社紹介発表又は商談できた事業所数						
		数値目標	25%	実績数値	45%	目標達成度	180%		
	成果の代表事例	日常ではなかなか繋がることのない業種の方々が出会うことで、新たな提案ができ、今後商談へと繋がる可能性ができた。今後もマッチングできる場を提供していきたい。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>次回、このようなビジネスマッチングフェアを開催しましたら、参加されますか?という問いに対して、「是非参加したい」が17社、「都合が合えば参加したい」が38社、「参加したくない」が1社であった。(参加企業アンケートより集計)引き続き摂津市内企業同士のマッチングに対するニーズが高いことが伺える。2年ぶりの会場参加ができ、会場で顔を合わせたの交流会を行うことで17社が商談につながるような事業所が見つかることができたため、今後も地域密着のマッチングが行えるよう計画していきたい。</p>							

摂津市商工会

事業名 BCP策定セミナー

想定する実施期間 2020 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の概要

事業の目的
(現状や課題をどのような状態にしたいか)
コロナウイルス感染症の影響下で3年目、それ以前の東日本大震災や大阪北部地震、西日本豪雨、関西を直撃した台風21号など経営リスクに対する防災・減災意識の高まりや新型、地球温暖化による豪雨災害の多発や近年発生が予想される南海トラフ地震などのリスク及びその影響を軽減するための取組や対策として、中小企業においてもBCP策定することが急務であるが、大企業の意識は30.8%、中小・零細企業の意識は13.6%が現状である。本市内には、淀川、安威川に挟まれ河川水位より低い地域があり水害の危険性が非常に高く、本市においては防災センター建設の計画が進められている。そこで、ハードウェアと共に摂津市内の事業者を対象にセミナーの開催を通じてBCP策定の重要性等の周知・普及促進を図る。

支援する対象
(業種・事業所数等)
摂津市内商工業者 2,836者
(うち中小企業者2,832者、小規模事業者2,412者)

実施時期・具体的な内容及び事業手法
開催日・令和4年7月12日(火)14:00~16:00
会場・摂津市商工会 会議室 オンライン配信
テーマ・災害に強い会社を創る(事業継続計画と中小企業強靱化法)
実施内容・1-1 BCPとは 1-2 水害・地震が起こったら 1-3 超簡易版BCPシート作成 2-1企業経営から見た災害リスク・感染症リスク 2-2事前対策の重要性 2-3事業継続力強化計画認定制度とは 2-4 連携事業継続力強化計画の事例と策定のポイント。
3、摂津市に起こりうる災害を知る 4、大阪府からのお知らせ

<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>

①府施策連携 大阪府が推奨するBCP策定に関するガイドライン等、経営支援課経営革新グループよりご紹介いただいた。会場参加者には災害時に役立つ水素・燃料電池車FCVの給電デモが実施された。

②広域連携

③市町村連携 摂津市のHP掲載や公共施設へのチラシの配架など、本事業のPR面等で協力を得た

④相談相乗 個別の事業継続計画の策定支援を希望する事業者を東京海上日動火災保険で行う支援制度につないだ。

事業全体の実績/目標達成度

計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	22.0	総支援企業数(実績)	18.5	支援実績率	84.1%	満足度	94.1
--------------	------------	------	------------	------	-------	-------	-----	------

目標の達成度
(支援企業をどう変化させることができたか)
受講者アンケートでは、今回のセミナーを受講しての満足度について17名中7名が満足、9名がやや満足、1名がやや不満と回答しBCP策定の必要性を感じ意識が高まったの意見が多く寄せられた。全参加者が大阪府超簡易版BCPこれだけはシートを作成できたことは貴重な体験である。感染症対策についてもさらに知りたいとの声があり、新たな気づきや取り組みを考える良い機会になったことがうかがえる。緊急時の対応をおろそかにしていた事を反省し今後の展開に期待できる事業所も見受けられた。

代表指標 事業継続計画等の策定企業数

数値目標	22	実績数値	18.5	目標達成度	84.1%
------	----	------	------	-------	-------

成果の代表事例
具体的な事例は掌握するに至っていないが、BCP策定の必要性を理解した、意識が高まった、本格的なBCP策定の検討をしようとする感想をいただいているので今後成果につながると思われる。

その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	
-----------	---------	--	---------	--	-------	--

実施結果

課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)
支援数は、コロナ禍にありセミナー目標20のところ21社24名が受講(アンケートは16.5名提出であるため報告数は16.5社でカウントしている)、参加者の満足度が84.1%と高評価になっている。今後とも感染症対策をとりいれるなど講師と相談を重ねカリキュラムを充実させて普及啓発に努めたい。策定支援を希望する事業所も毎年あることから今後も力を入れたい。また、将来摂津市は鳥飼地域に河川防災ステーション建設の計画をすすめており、ハード面に合わせソフト面でBCP策定のさらなる普及啓発に努めたい。

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	16.5	支援実績率	82.5%	満足度	82.5%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	超簡易版の策定をしたことで、自社の対応がおろそかになっていた事に気づき本格的な事業継続計画の策定実行に向け意識が高まった事業所が見うけられた。							
		指標	簡易版BCP「これだけは！」シートの策定企業数						
		数値目標	20	実績数値	16.5	目標達成度	82.5%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	2.0	支援企業数(実績)	2.0	支援実績率	100.0%	満足度	100%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	本格的な事業継続計画の策定を実行したことでさらに意識が高まり、今後もブラッシュアップする事でより良い計画書になるようにしたいと希望しており、事業を取り巻く脅威に対対応意識向上が伺える							
		指標	簡易版、または本格的な事業継続計画の策定						
		数値目標	2	実績数値	2	目標達成度	100.0%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

摂津市商工会

事業名		摂津市地域就労支援交流会								
想定する実施期間		2016 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	コロナ感染症の拡大の影響もあり全国完全失業率はR3年10月は2.7%であるが、同月の大阪府の完全失業率は3.6%であり依然厳しい状況である。R3年10月の近畿有効求人倍率は1.06倍であるが、大阪府は1.12倍であり人手不足は続いている。 地域内の事業所は人材の確保を求めている状況にある。働く意欲があり、就業を希望しているが、様々な事情で働くことに不安を持つ者に対して、従来の採用形態では、身近な地域の中小企業で働く場を確保することがなかなか難しい状況となっている。そのような中小企業における人材不足の解消を図るためには、企業側の就労希望者に対するニーズと就労希望者側の企業に対するニーズのギャップを解消し、双方歩み寄った人材を職業人として育成し、職場環境を整備し、自社の人材確保策につなげる仕組みが必要である。企業の生産性向上を図るとともに、様々な人材を受け入れて戦力化していくことで、企業の競争力アップと活性化につなげることを目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	地域の人材確保に関心がある全事業所の事業主および担当者								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①人材育成 ■開催日時：令和4年10月20日(木) 14:00～16:00 ■会場：摂津市商工会 会議室 ■テーマ：採用定着士が教える いい会社を作ろう！会社の組織風土改革のすすめ ■事業内容：求人を出しても応募が来ない…。採用したのにすぐやめてしまう…。このような悩みを抱えた事業所へ採用と定着の課題解決を支援する専門家『採用定着士』が採用・教育・組織風土改革・助成金活用について実例を交えた内容で実施。 ■参加者数：26名 ②人材交流 ■開催日時：令和4年11月8日(火) 10:00～11:00 ■会場：市内事業所 ■テーマ：オンライン企業見学会 ■事業内容：求人票を見ただけでは企業や業務内容がわからず求職者は応募をためらってしまったり、就職に至ったとしても思っていたのと違ったなどの相違で退職になることを回避するため企業とハローワークをオンラインで繋ぎ企業に訪問しなくても求人企業の魅力を伝える事業を実施。 ■参加企業数：1社 ■視聴者数：32名 <事業手法 (①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	労-10 事業実施にあたり、内容等の打ち合わせを行った。							
		②広域連携								
		③市町村連携	地域就労支援センターと連携、地域において就職を希望する者への事業の周知、参加の働きかけなど周知案内を行った。							
	④相談相乗	地域の雇用促進を積極的に考えている事業者のフォローを行い、カルテ化へつなげた。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	42.0	総支援企業数(実績)	27.0	支援実績率	64.3%	満足率	92.6%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	①人材育成型 セミナー受講いただくことで、採用方法や人材育成、助成金の活用などの内容が学べる内容で雇用に関する知識を得てもらえることを目標に実施し、現地+WEB受講者で参加者が26名でありアンケート結果での満足度は(満足9名、ほぼ満足13名、少し不満5名)で83%であった。不満な理由としては採用定着士ならではの話をもっと聞きたかったや具体的な話が聞きたかった等であった。セミナーの理解度は(理解できた12件、ほぼ理解できた14件)100%であった。 ②人材交流型 オンライン企業見学会は求人票だけではなく企業の魅力は伝わらず応募がこなかったり、入社してから思っていたのと違ったなどの相違で早期退職になることを回避するため企業とハローワークをオンラインで繋ぎ企業に訪問しなくても求人企業の会社内や想いを伝える事業を実施。実施した企業からは求人票だけでは伝えきれない自社の魅力を発信できた。求職者がどのような会社情報が知りたいのかがわかった。求職者に会社環境等も見てもらえることができたのでミスマッチが減らせると思う。改めて自社のことが理解できた。と満足度は100%であった。								
		代表指標	雇用に関する知識を得ることが出来た							
		数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
	成果の代表事例	人材育成型では求職者の立場に立った求人のおし方のアドバイスを受け、考え方が変わった方がおられ今後の業務に役立てられる。 人材交流型では自社のことがより理解でき、求職者がどのような会社情報が知りたいのかがわかった。また求職者に会社環境等も見てもらえることができミスマッチを減らすことができ、求人の申込みも数人あった。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	採用に関しては苦勞されている事業所が多い。求人を出しても応募がこない…。採用したのにすぐに辞めてしまう…。という問題解決に向けて、採用定着士である講師に【採用】【人材育成】【組織風土改革】の3つのテーマに主に焦点をあててセミナーを実施していただいた。 テーマが広すぎたのか、もっと詳しく聞きたかったとの意見があったため、次回開催時にはテーマや内容を定める際に講師と相談のうえニーズにあった就労支援事業を実施していきたい。 雇う側の知識を習得してもらい、求職者目線に立ってもらいミスマッチを無くしていけるようセミナーを行っていききたい。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	40.0	支援企業数(実績)	29.0	支援実績率	72.5%	満足率	82.8%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	セミナー受講いただくことで、採用方法や人材育成、助成金の活用などの内容を学んでいただき雇用に関する知識を得てもらうことができた。							
		指標	雇用に関する知識を得ることが出来た						
		数値目標	70	実績数値	100	目標達成度	142.9%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	2.0	支援企業数(実績)	1.0	支援実績率	50.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	求職者に求人票だけでは伝えきれない会社環境や魅力を発信することができ、ミスマッチも減らすことができると感じてもらった。また発信することで自社のことをより深く理解することに繋がった。							
		指標	求職者に自社をアピールすることが出来た						
		数値目標	50	実績数値	100	目標達成度	200.0%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

摂津市商工会

事業名		摂津ブランド事業							
想定する実施期間		2017 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	摂津市には約 4082 の事業所がある。そのうち製造業者は 708 社となっており（H28経済センサス調べ）、人口1人当たりの製造業事業者数は北摂一を誇るものづくりのまちである。ただ、大手企業の下請けの事業者が多く、生産のグローバル化により海外移転が進むなか、今後の事業を発展・継続するうえで、下請け 100% からの脱却や自社の看板製品開発が必要と感じておられる事業所も多い。そのために摂津市発の製品についての発掘および効果的なPRが必要であるため、市と共同で摂津ブランドを立ち上げ、摂津市内で作られている製品をブランド化し、効果的なPRにより販路の拡大や新規顧客の獲得等を目指すとともに、市民の郷土愛を育み、地域振興、商工業発展を目指す。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内製造業者等 708 社。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	摂津市及び摂津市商工会、ほか有識者により立ち上げた「中小企業応援プロジェクト！摂津ブランド認定委員会」により、「摂津優品（せっつすぐれもん）」および本年度より実施の「摂津優技（せっつすぐれわざ）」の名称で、摂津ブランドの募集を行った。 摂津ブランド事業の内容説明等のほか、申請書の記載方法のアドバイス等についても実施。 募集期間：令和4年7月1日～29日 認定審査会：令和4年8月22日 認定式：令和4年9月1日 摂津ブランド認定企業の活動として ①展示会等：大阪勧業展 場所：マイドームおおさか 日時：10月12日・13日 きたしんビジネスマッチングフェア 場所：マイドームおおさか 日時：11月9日・10日 ②認定証およびブランド認定ロゴの付与を行った。 ③市ホームページ等から認定製品のPRを行ったほか、パンフレットも作成し、QRコードなどから商品購入が可能となるようにした。 ④市による展示会出展料をはじめとした広報PR費用の補助や個別による経営指導を行った。 ⑤摂津ブランド動画を作成し、展示会や市役所においてPRした。 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携								
	②広域連携								
③市町村連携	市産業振興課と共同実施事業								
④相談相乗	他事業においてカルテ化（カルテ件数9件）								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	18.0	総支援企業数(実績)	18.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	事業計画書作成に伴う自社および自社製品の強みを理解したうえでの自社製品の知名度アップと新規顧客開拓、事業者間連携などへの意識向上が可能となった。							
	代表指標	事業計画書作成に伴う自社及び自社製品の強みを理解したうえでの自社製品の知名度アップと新規顧客開拓、事業者間連携などへの意識向上を目指す。							
	数値目標	2	実績数値	3	目標達成度	150.0%			
	成果の代表事例	(株)S社については、地元大学との連携を行い、自社製品における動画や紙芝居を作ることができ、販促支援として、作成したホームページにより、他県からの購入者が出始めている。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	目標値(実績)				目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	本年度については、大阪勧業展やビジネスマッチングフェアなどへの出展を行い、マッチングを図った。 自主制作の摂津ブランドの動画を、摂津市商工会YouTubeチャンネルや市役所で常時放映した。 また、J:COMに認定式等を放送していただき、PRすることが可能となった。 本年度より、摂津市で初のふるさと納税を行ったが、摂津ブランド商品への寄付が少なかった。 次年度については、大学との連携をいまより強化していきたい。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	3.0	支援企業数(実績)	3.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	新規認定により、自社や自社製品のPRが可能となり、次の認定品に向けた取り組みを行いたいという事業者がおられた。								
		指標	自社の強みを踏まえて広くPRできた事業所							
		数値目標	2	実績数値	3	目標達成度	150.0%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	本事業をとおして、自社製品を看板商品とする重要さや、広報活動に事業主および従業員に対して、意識改革が可能となった。								
		指標	認定製品をPRできた事業所							
		数値目標	12	実績数値	13	目標達成度	108.3%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					

摂津市商工会

事業名		小規模店舗参加型スクラッチカード事業							
想定する実施期間		2017 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>摂津市内は4082社程度の事業者があり、小売・飲食で851、サービス関連で704と合計1555社が本事業の対象である。(H28経済センサス調べ)</p> <p>市内には商店連合会加盟の商店街が4カ所、任意の商店街組織が2カ所あるものの、商店街単位でのイベントでは、商店街会員しか参加できない。</p> <p>そこで、摂津市では平成21年度から継続して商品券発行事業を実施。平成27年度には国の事業として開催するものの、商品券事業は費用や労力負担が大きく、また消費者の利用先の大半が大型店に流れてしまっていた。</p> <p>本事業は、小売業・飲食業・サービス業等の小規模事業者をメインターゲットとして本事業を行い、参加店舗については、消費者とのつながりを強化し、今後の売上増加とリピーターの確保、お店のPRなど、販促に対する意識向上に繋げることを目的とする。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内小規模小売業、飲食業、サービス業等 1555 社							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>セピィスクラッチ事業(場所:摂津市内各店舗)</p> <p>・日程:令和4年11月11日～12月11日</p> <p>・参加店舗数:199店舗、総支援企業数(実績):195店舗</p> <p>スクラッチカードを8.0万枚発行。199参加店舗に300枚発行</p> <p>※追加購入希望者には、100枚を1000円で販売、49事業者205セット購入された。</p> <p>顧客の購入価格500円ごとにスクラッチカードを1枚進呈。(最大5枚まで)</p> <p>スクラッチカードの当りは、300円の買い物券(約2.3万枚)1000円の買い物券(約1.5千枚)を発行。</p> <p>はずれ券の再利用のための特典(参加者負担)についても、122店舗が参加。</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
	①府施策連携								
	②広域連携								
③市町村連携	市との協力で、参加者の募集、商店街との調整、広報活動、換金作業等を分担し実施。								
④相談相乗	他事業においてカルテ化23件								
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	180.0	総支援企業数(実績)	195.0	支援実績率	108.3%	満足率	79.5%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>本事業については、もともと店舗により賛否が分かれる事業であるが、本年はコロナ禍での実施ということもあり、例年より当選率を上げたため、参加店や顧客には、おおむね好評であった。摂津市内でも徐々に浸透してきており、当初の目的である販促ツールとしてだけでなく、コミュニケーションツールとして利用される事業者もおり、店舗の方と顧客、顧客同士のコミュニケーションができています。</p>							
	代表指標	期間中、来客が増えた事業所の割合							
	数値目標	50%	実績数値	50.7%	目標達成度	101.4%			
	成果の代表事例	<p>正雀本町商店街にあるS店の声として、日ごろ商店街規模での販促らしい販促活動を行っていなかったため、本事業は有効であると答えられている。また、換金についても、全体の2番目の換金金額であり、はずれ券サービスも30件あり、小規模店舗であっても、店舗の努力次第では、かなりの事業効果があったと感じられる。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>アンケート未回答32件</p> <p>新型コロナウイルスの影響下での消費喚起として、例年の当選率20%を30%(ただし去年は40%)に上げての実施としたため、事業者、消費者ともに大変好評であった。</p> <p>次年度についても、同時期での開催を予定している。</p>							

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

摂津市商工会

事業名		摂津まちゼミ（摂津市商業活性化事業）							
想定する実施期間		2015 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	<p>摂津市は、まちゼミの主な対象となる小売、飲食・サービス業などが1555件ある。（H28経済センサス調べ）摂津市内の商業の現状としては、市商店連合会加盟の商店会4組織、任意の商店会組織が2組しか無く、商店街以外の商業者が市内に広範囲に点在しているのが特徴である。市内の各小規模商業者が売上拡大および事業を継続していくためには新規顧客の獲得と、リピーターの確保が必須であり、「まちゼミ」事業は商店街イベントとは違い、点在する個々の店舗でも参加が可能であるため、本市の商業等の状況にあった事業である。</p> <p>また、ネット通販や大型店には価格や品ぞろえで対抗が不可な小規模事業者については、まちゼミのコミュニケーションの中から「この人から買いたい」「この人から買ったら安心」と消費者に思ってもらえる「人でモノを売る」ことが可能となるとともに、消費者のニーズを聞き取る機会となるイベントであり、個店の活性化により店舗力のアップだけでなく、周辺地域の活性化に繋げることを目的とする。</p>							
	支援する対象 （業種・事業所数等）	摂津市内の商店街および摂津市内に点在する 1555 事業所以上の小売・飲食・サービス業など。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>Kids & 親子まちゼミ（場所：摂津市内各店舗） 日程：令和4年7月25日～8月24日 参加事業者数：21社 21講座 総支援企業数（実績）：20社 ※アンケート未回答2社 参加顧客数：146人（組） まちゼミクーポン：15社 まちゼミ参加者に限定クーポンを発行まちゼミ実施期間+1か月の利用期間を設けて実施。</p> <p>摂津まちゼミ（場所：摂津市内各店舗） 日程：令和5年2月1～28日 参加事業者数：33社 34講座 総支援企業数（実績）：32.5社 ※アンケート未回答1社 参加顧客数：223人（組） まちゼミクーポン：26社 まちゼミ参加者に限定クーポンを発行まちゼミ実施期間+1か月の利用期間を設けて実施。</p> <p>交流会形式セミナー（場所：摂津市商工会&WEB） 日時：令和4年12月8日19:00～21:00 内容：まちゼミ交流会研修 講師：〇社 代表 MY氏 参加事業者数：27人 総支援企業数：19社</p>							
	<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
			①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	摂津市への後援申請手続きによる小中学校配布、広報支援手続き等を担当	④相談相乗
事業全体の実績／目標	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	48.0	総支援企業数(実績)	71.5	支援実績率	149.0%	満足率	84.5%
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	<p>まちゼミ交流会については、基本的に来場の上で実施し、どうしても参加できない方については、オンラインで実施した。〇社代表のMY氏の実践からくる内容でのセミナーや自社がどのようなネタで実施すれば良いのかなどのグループワークを行ったことにより、企業間連携や連帯感を作ることができた。</p> <p>Kids & 親子まちゼミに関しては、3年ぶりに7～8月に実施することができ、通常のまちゼミを2月に実施したため、あわせて年2回を開催することができた。</p> <p>いずれも、新規顧客を獲得するための有効な手段であることを理解いただき、多くの事業者に対して販売促進に対する意識向上につながった。</p>							
	代表指標	販売促進に対する意識向上ができた事業所							
	数値目標	70%	実績数値	85.3%	目標達成度	121.9%			

達成度	成果の代表事例	P社において、まちゼミに参加し、店舗スタッフが人に教えるということから、メイクの練習を行ったことで、スタッフのメイク技術が向上したため、今後の事業継続に役立てることができた。		
	その他目標値の実績	目標値 (計画)	目標値 (実績)	目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	事業としては、他の販促イベントと比較して、非常に大きい効果が出やすい事業である、ただし、店舗のやる気と実施方法により、大きく効果に差が出る事業である。事務局としても手間暇時間と費用面がかかる事業であるが、現状の商業施策では、これしかないと言える状況であり、継続が必要と考える。		
		実施内容にも問題があるが、参加客数が0人の事業所が3件あったため、実施内容や日時の検討の重要性が理解できた。		

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	52.5	支援実績率	175.0%	満足率	80.8%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	実際にまちゼミに参加し、新規顧客獲得や売上改善に対する意識改革を狙う。							
		指標	販売促進に対する意識向上ができた事業所						
		数値目標	70.0%	実績数値	87.6%	目標達成度	125.1%		
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	18.0	支援企業数(実績)	19.0	支援実績率	105.6%	満足率	94.7%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	「まちゼミ」交流会セミナーに参加し、企業同士の連携強化と新規顧客獲得や売上改善に対する意識改革を狙う。							
		指標	販売促進に対する意識向上ができた事業所						
		数値目標	70.0%	実績数値	83.3%	目標達成度	119.0%		
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 商工会等支援事業実績報告書

摂津市商工会

事業名		製造業経営者支援事業							
想定する実施期間		2008 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	摂津市内の製造業は約750社あり、夜間よりも昼間の人口が多くなる「産業のまち」です。しかし摂津市には、製造業者組合等の情報交換や協力関係を築く場所がありません。そこで、参加者主導による研修事業の検討や展示会への出展、他団体との交流などをとおして、取引や横のつながり、情報交換・意識改革などを行うことにより、今後さまざまな形で経営に役立てることを目的とします。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内製造業を中心とした750社							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	4月～3月の間で、19時より摂津市商工会館をメインの場所として横のつながりや情報交換を行うための会を年4回開催する。 ・5/12 19:00～20:30 「人手不足の状況での従業員との接し方について」 ・7/14 19:00～20:30 「ポリテクセンター関西の求職者向け職業訓練制度について」 ・11/10 19:00～20:30 「iDecoの概要と従業員の年金について」 ・2/9 19:00～20:30 「障がい者雇用について」							
		<事業手法 (①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果) の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	8/6・8/7の摂津まつりに出展。		
	④相談相乗	参加した事業所の中でカルテ化されている件数 (5件)							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績 (数値)	総支援企業数(計画)	13.0	総支援企業数(実績)	18.0	支援実績率	138.5%	満足率	94.4%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	本年度も年間4回開催しました。零細企業にとっての課題はやはり人手不足問題が話題に上がります。「採用したいが、できない」状態が長きに続き「①費用が掛かってもいいので採用活動を積極的に行っている②外注に切り替える③採用活動しているが積極的でなく、既存人員でできることのみ追及する」等企業によって対応方法は別々であることが本事業での議論の結果見えてきました。そこからハローワーク・ネット系有料求人以外の採用法を参考にしてもらうため外部機関の方にお話を伺いました。ポリテクセンター関西からは「訓練生制度」を、NPO法人 View ぶらすからは「発達障がい者の就活サポート事業」を説明いただき採用活動のツールを広げることができるのかを議論しました。また、「iDeCo」制度を知り、経営者から従業員へ節税方法・退職金の上乗せ方法を伝える一体感のある職場にできるのかを話し合いました。本事業で紹介した制度を使いながら人材不足問題に取り組んでいただきたいたいと考えております。参加企業からは満足度は94%と非常に高く、紹介した制度を利用するのかを検討する企業も出てきております。							
		代表指標	本事業が製造業に役立っているとの満足度 (アンケート)						
		数値目標	70%	実績数値	83%	目標達成度	118.6%		
	成果の代表事例	初めて参加したA社は本事業で知り合った他社に訪問し見積書を受注するなど仕事に繋がっている。							
その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	人材採用のために、ポリテク関西やNPO法人の紹介の他にも商工会が主催している「三市一町合同就職フェア」「摂津市おしごとフェア」の紹介も行っている。参加企業からは他にも職業訓練学校等の情報があれば教えて欲しいと要望を受けているため、来年度も外部機関を講師に招いた事業にしていきたい。							

摂津市商工会

事業名		障がい者・求人求職マッチング							
想定する実施期間		2014 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	障がい者は採用募集企業とのマッチングの機会が少なく、また限られています。障がい者雇用に積極的な企業に採用の機会を提供するとともに、障がい者の多様なニーズに応えた雇用・就業の機会を提供することを目的に開催します。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、10社の中小企業及び求職者60名							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和4年9月15日(木) 13:00~16:00 摂津市立コミュニティプラザにて開催。 参加者数35名 面接応募総数49名 参加企業9社							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府労働環境課、就業促進課と連携する。大阪府お仕事相談ブースを設置。						
②広域連携									
③市町村連携	摂津市、ハローワーク等と調整・協議をしながら求人企業の対応、会場設営、当日対応について対応を検討する。								
④相談相乗									
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	10.0	総支援企業数(実績)	9.0	支援実績率	90.0%	満足率	100.0%	
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	昨年度は大阪府労働相談が中止になる等多くの制限を受けましたが今年は開催出来ました。出展企業は9社と昨年度より1社増えましたが、参加者数は前回51名より減少してしま、障がい者の求職者の確保が難しいと実感しております。事業所からの満足度は100%と非常に高く、法定雇用率達成のために採用活動を行っている事業所のニーズと合致しています。							
	代表指標	参加企業のうち採用に至った企業数							
	数値目標	2社	実績数値	3社	目標達成度	150.0%			
成果の代表事例	㈱Aは法定雇用率のため、企業としての義務・責任のため、事務職補助で1名募集。面接応募者数は3名と少なかったが1名採用に至った。本フェアを有効に活用していただいた。								
その他目標値の実績	目標値(計画)	90人	目標値(実績)	35人	目標達成度	38.9%			
	来場者数								
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者は減少のため、広報を検討したい。また、法定雇用率改正の影響、企業の社会的責任から出展企業は出てきているが、零細企業までは普及していないので今後も募集する際に周知して少しでも採用に前向きな企業を増やしていきたい。							

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 商工会等支援事業実績報告書

摂津市商工会

事業名		摂津市おしごとフェア																																							
想定する実施期間		2018 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	働く意欲がありながら、就労を実現できない方のために、摂津市、茨木職業安定所、大阪府労働環境課、摂津市商工会で開催します。大企業よりも中小零細企業は雇用の確保が問題であり摂津市商工会でも、おむね正社員求人を対象とした3市1町合同就職面接会を実施しています。しかし、交通の便の悪さなどの影響か、同じ求人内容でも茨木市、高槻市の事業所へ面接希望者が流れてしまいます。そこで本フェアは「地元の人を地元の企業に！」をスローガンに、地産地消を目指す就職フェアにします。規模が小さくても、マッチング率が上がるようなフェアを目指します。																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、11社程の中小企業及び来場者数30名。																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>令和5年3月8日（水）15：30～17：30 ポリテクセンター関西にて開催。 参加者数74名 面接応募者22名 個別説明会希望者16名 参加企業8社</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7">大阪府労働環境課のメルマガ配信で広報業務を連携する。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7">摂津市と共同で実施する。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7"></td> </tr> </table>								①府施策連携	大阪府労働環境課のメルマガ配信で広報業務を連携する。							②広域連携								③市町村連携	摂津市と共同で実施する。							④相談相乗							
	①府施策連携	大阪府労働環境課のメルマガ配信で広報業務を連携する。																																							
	②広域連携																																								
③市町村連携	摂津市と共同で実施する。																																								
④相談相乗																																									
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	11社	総支援企業数(実績)	8社	支援実績率	72.7%	満足率	100.0%																																	
目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	参加者数の減少に歯止めをかけるために、「摂津市おしごとフェアinポリテク関西」として内容を全面リニューアルしました。求職者のターゲットを従来のハローワークからの求職者のみでなく、ポリテク関西の訓練受講生まで広げ、場所もポリテク関西で実施し、時間も訓練受講生の授業終了後の15：30分スタートに変えました。また、内容も全2部制にし、第1部では参加企業が5分/社でプレゼンし、自社をPR+参加企業自身に自社のブースまで足を運んでもらえるように誘導する機会を設け、2部では従来の個別面接&説明会を行いました。結果、昨年度は10名の参加者が今年度は74名が参加し、前年度比740%UPとなりました。またプレゼンを見たために第2部の面接&説明会への希望者が増加する相乗効果を生むことができました。																																								
成果の代表事例	代表指標	参加企業のうち採用に至った企業数																																							
	数値目標	3社	実績数値	3社	目標達成度	100.0%																																			
その他目標値の実績	目標値(計画)	30人	目標値(実績)	74人	目標達成度	246.7%																																			
	来場者数																																								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今回は初めての型での開催となり良かった点、改善点共に見つけることができました。改善点としては第2部の個別面接&説明会では最初から面接を希望している方は履歴書を準備しているが、第1部のプレゼンのみを急遽面接を決めた方は資料が何もなく企業側に名前すら示すものが無かった。こうしたことはやってみないと分からないため、次回以降の運営課題とします。																																							

摂津市商工会

事業名		事業計画策定・実施支援事業（補助金申請攻略セミナー）	
想定する実施期間		令和4 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>中小・小規模事業者が、ポストコロナ時代の社会の変化に対応するために、回復の見込めない事業から新規ビジネスへの転換や、既存ビジネスの競争力向上を図るための、事業計画作成支援並びに立案した計画の実施支援をする。</p> <p>これから新事業にチャレンジしようと思っているが、一歩踏み出せない方はもちろん、作成した計画がこれでいいか不安な方、新事業に取り組んでみたものの計画どおりにいかず悩んでおられる方などがチャレンジしやすいような環境に転換する事を目的とする。</p>	
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内の小規模事業者を含めた中小企業者等を対象として支援する。特に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小・小規模事業者を対象とする。	
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>コロナのピンチをチャンスに変える！自社の強みを活かした新たなビジネスチャンス！</p> <p>■セミナー名：補助金申請攻略セミナー ～採択されるために必要な補助金申請のノウハウとポイントを伝授！～</p> <p>■開催日時：令和4年6月13日（月）10：00～12：00 個別相談会12：00～13：00</p> <p>■会場：摂津市商工会会議室＋Web配信＋YouTube配信</p> <p>■内容：補助金、助成金についての基礎知識 採択されるための様々なノウハウとポイント 事業再構築補助金について 小規模事業者持続化補助金について ものづくり補助金について 加算措置への対応 数値計画の策定方法について 採択後の手続きについて 新事業支援Vチャレンジ制度紹介（大阪府）</p> <p>■講師：中小企業診断士 ■参加者数：15事業所15名 ■告知：令和4年5月、案内チラシ2000枚を摂津市内事業所に郵送</p>	
	①府施策連携	府施策連携商11番 大阪産業局と連携し、新事業支援Vチャレンジの取組のPRを行った。上記事業参加者の中から個別相談があれば、商工会でフォローしながら支援を行った。	
②広域連携			
③市町村連携			
④相談相乗	参加者の新事業支援Vチャレンジの申請に関するフォローを実施し、カルテ化へ繋げた。（件数5件）		

	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	75.0%	満足率	93.3%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>支援企業数の内訳は、参加者の60%(9社)が法人、個人事業主が40%(6社)であった。今回の受講者アンケートでは、15名中13名が「満足」、1名が「ほぼ満足」と回答し、1名が「やや不満」であったため満足度93.3%であった。また、セミナーの内容は理解できましたかという問いに対して、「理解できた」が13名、「どちらかといえば理解できた」が2名で、すべての参加者が理解できており、講師の説明も分かりやすかった。</p> <p>そして、今回参加して今後の事業活動に活用しようと思えますかという設問に対し、「活用していきたい」が10名、「活用を検討したい」が3名、「あまり活用したくない」が1名であり、参加者のほぼ全員が「活用していきたい」や「活用を検討したい」と積極性を生み出している。</p> <p>本セミナーは、中小企業診断士による概要説明と、具体的な事例紹介を交えた内容とし、フォロー体制など具体的な講義を行っていただいた。</p> <p>質疑応答時に積極的に質問されている事業所も多かったことから、自身や自社のビジネスにどのように活用するか具体的にイメージしてもらい、活用検討に至るきっかけとなったと思われる。</p>							
	代表指標	新事業展開チャレンジへの関心が高まった事業所の割合							
	数値目標	70%	実績数値	42.9%	目標達成度	61.3%			
成果の代表事例	<p>参加事業者：I氏</p> <p>ハーレーダヴィッドソンのカスタムや修理を行っている。今回のセミナーをきっかけにして、新事業支援Vチャレンジの申請をして採択。約8ヶ月の伴走支援を行った結果、新事業がきっかけとなって前年度より売り上げが1千万円増に繋がった。(前年度売上比176%)</p>								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>開催時期が遅くなったために、新事業支援Vチャレンジの申請締切までに時間があまりなく、今回のセミナーをきっかけに事業所6社は新事業展開チャレンジへの関心が高まったにもかかわらず実際に申請を行った事業所が「2社」で採択が「1社」という結果となった。</p> <p>今後は開催時期を1ヵ月程度早める事で、新規事業の事業計画書の策定(①ビジョンや背景などの事業概要②事業コンセプトの作成③顧客に提供する価値の明確化④商品・サービス提供の仕組み⑤収益を上げる方法の検討⑥利益計画)にある程度の時間をかけられるようにする。</p> <p>また成果事例なども積極的にPRすることや、個別相談にも対応し、1社でも多くの申請をしてもらえるようなフォロー体制を行う。</p>							

摂津市商工会

事業名		事業承継セミナー
想定する実施期間		2020 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	2021年に日本企業が関わったM&A（合併・買収）の件数は 4280 件（速報値）で、過去最多になったことがわかった。新型コロナウイルスの感染拡大で事業の再編が活発化している。事業承継の現状は経営者の高齢化、後継者不足や事業承継への取組みを先送りしている等、取組みが進んでいない。事業継続のためには早い段階での事業承継への着手が求められているのだが、日々の仕事に追われて、なかなか承継に手が付けられない。、変化の速い時代で事業の将来性が見通せない不安が深刻化している点などが深く関係していると思われる。親族内承継、従業員承継、第三者承継、それぞれのメリット、デメリットを勉強し、事業承継と真摯に向き合えるよう、継いで良かった。譲られて良かったと思えるような事業承継を目指す。 そして、事業承継の重要性を認識、現状把握、魅力的な会社へ。そして、事業承継計画を策定し、実行する。自社の魅力の後継者への見せ方や、事業承継の手順と事業承継の実行までを理解してもらう事を目的とする。
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内全事業所、経営者
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	セミナー名：事業承継セミナー 場所：摂津市商工会 3F会議室+Web受講 ① 日時：令和4年8月23日（火）14：00～16：00 題名：ダーウィンの進化論と中小企業の生き残り術 受講人数：25名（会場10名、Web受講15名） 受講内容：老舗はなぜ危機に強いのか。同族企業の長所と短所。老舗のイノベーション。間違いだらけの“強み”と“弱み”について学んで頂いた。 ② 日時：令和4年9月2日（金）14：00～16：00 題名：補助金活用で自社の魅力をさらに引き出す 受講人数：18名（会場6名、Web受講12名） 受講内容：自社の真の姿（価値）をストックホルダー（特に経営者）に伝えるための事業計画を作成する手法を学んで頂いた。 ③ 日時：令和4年10月5日（水）14：00～16：00 題名：自社の魅力を活かした経営のバトンタッチ 受講人数：19名（会場10名、Web受講9名） 受講内容：事業承継の種類・ポイント（親族・従業員・M&Aなど）事業承継税制について学んで頂いた。 告知：令和4年7月末、案内チラシ各2000枚を摂津市内事業所に郵送
	<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>	
①府施策連携	府施策連携商10番：大阪府と連携し、府の事業承継施策の取組をPRする。上記事業参加者の中から個別相談があれば商工会でフォローしつつ、大阪府事業承継引継ぎ支援センターを紹介し専門家を派遣する等ダブルでの支援を行った。	
②広域連携		
③市町村連携	摂津市のホームページ掲載や公共施設などのチラシ配架などPR面等で協力を得た。	
④相談相乗	参加者へのフォローを実施し、カルテ化へつなげた。	

	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	45.0	総支援企業数(実績)	62.0	支援実績率	137.8%	満足率	96.8%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>日常の相談業務プラスセミナー参加で、事業承継への気づき、意識付けが倍になる。事業承継の重要性の認識、現状把握、魅力的な会社であるための自社の隠れていた強み、知的資産の発掘の方法を習得でき、後継者の理解を得、スムーズな事業承継に結びつける事ができる。自社(店)の隠れていた強みや資産(知的資産)に対する理解を深めることができる。さらに、隠れている自社(店)の強みや知的資産を掘り起こすための方法を学び、自社の真の姿(価値)を把握し、後継者に魅力ある会社を遺すことができる。事業計画書を利用し、ステークホルダー(事業承継先・顧客・金融機関・取引先・従業員等)に自社の優位性(魅力)を認識させることの重要性を理解。事業承継についての正しい知識を身につけて、自社における実際の取組みを行う事で事業承継の早期実施を行う。M&Aとはどういうものか、どのように活用すればいいか知識が増えた。事業承継税制については2024年3月31日までに特例承継計画を作成し大阪府に提出する流れを周知できた。</p>							
	代表指標	事業承継についての重要性の認識が高まったと回答した割合							
	数値目標	70%	実績数値	96.8%	目標達成度	138.3%			
	成果の代表事例	<p>ギター修理・販売の法人代表者がセミナーに参加され、事業承継税制等の知識を得て、従業員承継を検討。個別に相談したいとの事で事業承継引継ぎ支援センターにつなぎ、面談。従業員承継に向け、手続きを進めておられ、現在商工会として出来る支援をしている。また親族内事業承継については、早い内の事業承継を考えていくいいきっかけになったとお言葉を頂いた。事業承継への積極的に取り組む事業者の意識を感じる事ができた。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>事業承継に興味を持って頂けるために第1回「中小企業の生き残り術・自社の強み、弱み」について学んで頂き、そして第2回「補助金を使って自社の魅力を引き出し」、第3回で「事業承継の税制について学んで頂く」という流れで、多くの事業者に参加して頂けた。どちらかと言えば後継者がいる事業承継として多くの事業者に参加頂けた。ただ、事業承継においては後継者がいる、いないではまた違った選択肢になるため次回は選択肢としてM&Aをもっと理解して頂き、それぞれの立場に沿った支援へつながるよう取り組んでいきたい。</p>							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	25.0	支援企業数(実績)	25.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	<p>自社(店)の隠れていた強みや資産（知的資産）に対する理解を深めることができ強み・弱みの間違いに気付く事が出来た。さらに、隠れている自社(店)の強みや知的資産を掘り起こすための方法・事例を学び、自社の真の姿（価値）を把握し、後継者に魅力ある会社を遺すことができる事を理解して頂けた。</p>							
		指標	知的資産経営および、知的資産を掘り起こす方法に対する理解度						
	数値目標	70	実績数値	100	目標達成度	142.9%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	10.0	支援企業数(実績)	18.0	支援実績率	180.0%	満足率	94.4%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	<p>事業計画書を利用し、ステークホルダー（事業承継先・顧客・金融機関・取引先・従業員等）に自社の優位性（魅力）を認識させることの重要性を理解出来た。</p>							
		指標	知的資産経営および、知的資産を掘り起こす方法に対する理解度						
	数値目標	70	実績数値	100	目標達成度	142.9%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	10.0	支援企業数(実績)	19.0	支援実績率	190.0%	満足率	94.7%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	<p>事業承継についての正しい知識を身につけて、自社における実際の取組みを行う事で事業承継の早期実施を行う。M&Aとはどういうものか、どのように活用すればいいか知識が増えた。事業承継税制についても制度内容を理解して頂けた。</p>							
		指標	事業承継の基礎知識の理解度が高まった割合						
	数値目標	70	実績数値	100	目標達成度	142.9%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				

摂津市商工会

事業名		創業・承継経営者発掘育成交流会							
想定する実施期間		2011 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	創業者や事業後継者は、様々な問題乗り越える為の知識や解決力が十分には備わっておらず、経営がうまくいっていないケースが多い。創業ないしは事業を承継して1～5年くらいの経営者に、新しい革新的な発想で経営の方向性を変えていく経営課題に共に取り組むことで、自社の課題と問題点を発見し、広域による企業同士で知的・人的ネットワークを広げ、改めて自社のあるべき方向性を検討することを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪三島地域に属する全業種事業所市内事業所の経営者、後継者、後継予定者、創業期(創業1年から5年)安定期、安定下降期、下降期等の企業のライフサイクルに入っている企業経営者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	■開催日時：第1回 令和4年12月7日(水) 14:00～16:00 第2回 令和4年12月21日(水) 14:00～16:00 第3回 令和5年1月13日(金) 14:00～16:00 第4回 令和5年1月31日(火) 14:00～16:00 ■会場：摂津市商工会 ■テーマ：自社の魅力発見と共創による価値創造 ■事業内容：第1回 『モノづくり企業から価値づくり企業に変わるためには』 第2回 『価値創造に必要なつながりを生む共創と地域活性化』 第3回 『地域課題を発見し、共通目標を掲げるファンづくり』 第4回 『新たな事業の発掘でまちづくりにも個性を!』 ■参加者数：51名 内訳：第1回 13事業所13名、第2回 10事業所10名、第3回 14事業所14名、第4回 14事業所14名 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	将来性などが認められる有望な創業者を大阪起業家グローイングアップのビジネスプランコンテストの紹介を行う。						
		②広域連携	当商工会が幹事、高槻商工会議所、茨木商工会議所、吹田商工会議所、島本町商工会にて受講者を募集。全4回開催運営は摂津市商工会が担当。茨木商工会議所、島本町商工会も当日参加。						
		③市町村連携	摂津市が創業支援事業計画の認定を受けており、創業セミナーとも連携						
		④相談事業相乗	交流も目的としているので、近隣の事業所と交流することによって、新たな連携や販路開拓も目指す。また、専門家による相談事業にもつなげる。						
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	40.0	総支援企業数(実績)	51.0	支援実績率	127.5%	満足率	98.0%	
事業全体の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	2025大阪・関西万博を見据え、ローカル経済の可能性を事例を交えながら「共創」について探索し、地域課題と地域企業の課題とまちのめざすべき絵姿の3つをどう重ね合わせ、共通のビジョンをつくることができ、新たな事業の発掘につなげることを目標に開催した。 今回のセミナーの受講者アンケートでは、全4回で、延べ51名中41名が「満足」、9名が「ほぼ満足」、1名が「やや不満」で「不満」はゼロ。満足度98.0%とかなり高い満足度となった。また、研修会の内容が理解できましたかという問いに対して、「理解できた」が44名、「どちらかといえば理解できた」が7名で参加者全員が理解しており、講師の説明も分かりやすかった。そして、今後の事業拡大に活用しようと思えますかという設問に対し、「活用していきたい」が40名、「活用を検討したい」が11名と参加者全員が今後の活用に意欲を見せている。参加企業のいただいたご意見の中には、「新たな分野へいくために活用していきたい」「再度自社の魅力を掘り下げて、自社の武器を明確にし広げていきたい」などと前向きな意見を多数いただいた。市場が成熟し、今のままで良いという考えでは生き残ることが難しい時代になっており変化に対応する力が今後の事業で重要になっていきます。他者との共有・共感を事業を考える上で重要であるため工夫をして交流会は今後も続けていき、新たな事業・連携のきっかけ作りをしていきたい。							
	代表指標	事業改善又は新規事業取組に対する意識改革度							
	数値目標	70.0%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%			
成果の代表事例	セミナーで『共創』について理解いただけたことで、交流会でも他社との共有、共感を得ていた。その後ビジネスマッチングイベントにも積極的にご参加いただき事業連携につながっている。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加申込は多くいただいたが、コロナ感染、濃厚接触者となりキャンセルとなる方も多かった。オンラインでの受講希望もあったが、現地で対面で交流することで気付きがありつながることも多いので次期以降も現地にて交流会開催を行いたい。起業家・承継者・就職活動を控えた学生など立場が違う様々な参加者の中で他者からの意見や提案を受けれることも好評であるので、次期以降も新たな事業の発掘や育成を行えるようなテーマを設定し、実行していきたい。							

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

摂津市商工会

事業名		クラウドファンディング活用セミナー							
想定する実施期間		2011 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>中小企業や個人事業者が新たな商品開発や新事業展開時、また社会的課題やニッチな市場に対する新サービス展開時に金融機関から資金調達する場合、既存事業の決算内容による可能範囲額の融資しか受けることができず、また新商品・サービスの開発の際は、市場に対するニーズの調査、販売経路の確保、ユーザーからのフィードバックを受けることが難しいことから、経営余力のある事業所でないという取り組みが難しい現状にある。</p> <p>クラウドファンディングは、不特定多数の個人から出資を募ることができることにより資金面の問題を解消し、かつ、直接的にユーザーとつながることができることから、小規模事業者であっても新製品・サービスのニーズ把握や、既存の販売経路に束縛されない新たな販売チャネルの開拓及び新製品・サービスの課題に対するフィードバックを受けることができる。その一方で、クラウドファンディングで出資を募るためには、出資者である個人にSNSなどを通じていかに共感や興味を持ってもらい、持続的に支援してもらえるような新商品・サービスを展開するかが非常に重要になる。そこで、普及・啓発セミナーを開催し、手法を学んでもらうとともに、クラウドファンディングによって、社会の課題に対する必要度やニーズを事前にマーケティングすることができるツールとしても活用を促進する。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津、茨木、高槻、吹田、島本および周辺地域の全事業所の事業主および担当者。創業者及び創業予定者。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>中小企業も個人事業主も誰でもできる！クラウドファンディングにチャレンジ！クラウドファンディング活用セミナー</p> <p>■開催日時： 令和5年2月1日（水）10：00～13：00</p> <p>■会場： 摂津市商工会会議室＋ウェブ配信</p> <p>■内容： クラウドファンディング（CF）の概要 プラットフォームの選び方 CFをマーケティングに活用する CF実行のコツ CF活用事例 実行企業紹介 Makuakeとは Makuakeキュレーターによる最新のCF</p> <p>■講師： 一般社団法人ビジネス共創協会 代表理事 山之内 敦 氏 株式会社マクアケキュレーター本部 キュレーション局 森 雪尋 氏</p> <p>■個別相談 2/1（水）3件 ■申込者数：28事業所29名 ■参加者数：23事業所24名</p>							
	<p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td>大阪府商業・サービス産業課新事業創造グループとの連携、メルマガ等でPRしていただいた。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td>摂津市商工会が幹事で、高槻商工会議所、茨木商工会議所、吹田商工会議所、島本町商工会にて受講者を募集。開催当日において、各所担当者が協力して運営を行った。</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>摂津市、摂津市男女共同参画センターに摂津市広報等で創業者、創業希望者に周知していただいた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>事例紹介を通じて自身のイメージのブラッシュアップを行い、専門家による相談事業にもつなげる。カルテ化件数7件。</td> </tr> </table>		①府施策連携	大阪府商業・サービス産業課新事業創造グループとの連携、メルマガ等でPRしていただいた。	②広域連携	摂津市商工会が幹事で、高槻商工会議所、茨木商工会議所、吹田商工会議所、島本町商工会にて受講者を募集。開催当日において、各所担当者が協力して運営を行った。	③市町村連携	摂津市、摂津市男女共同参画センターに摂津市広報等で創業者、創業希望者に周知していただいた。	④相談相乗
①府施策連携	大阪府商業・サービス産業課新事業創造グループとの連携、メルマガ等でPRしていただいた。								
②広域連携	摂津市商工会が幹事で、高槻商工会議所、茨木商工会議所、吹田商工会議所、島本町商工会にて受講者を募集。開催当日において、各所担当者が協力して運営を行った。								
③市町村連携	摂津市、摂津市男女共同参画センターに摂津市広報等で創業者、創業希望者に周知していただいた。								
④相談相乗	事例紹介を通じて自身のイメージのブラッシュアップを行い、専門家による相談事業にもつなげる。カルテ化件数7件。								

	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	23.5	支援実績率	78.3%	満足率	97.8%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>支援企業数の内訳は、高槻2社、茨木3.5社、吹田3社、島本2社、摂津5社、その他8社で参加者の70%が企業若しくは個人事業主で30%が創業または創業希望者であった。今回の受講者アンケートでは、24名中14名が「満足」、9名が「ほぼ満足」と回答し、1名が「やや不満」であったため満足度97.8%であった。また、研修会の内容が理解できましたかという問いに対して、「理解できた」が18名、「どちらかといえば理解できた」が5名、「どちらかといえば理解できなかった」が1名であり、参加者の大体が理解できており、講師の説明も分かりやすかった。そして、今後の事業拡大に活用しようと思いたすという設問に対し、「活用していきたい」が11名、「活用を検討したい」が11名、「あまり活用したくない」が2名であり、参加者の大半が意欲を見せている。</p> <p>本セミナーは、前半に山之内氏による概要説明と摂津市を中心に実際にクラウドファンディングプロジェクトに挑戦された事業所の紹介を行い、具体的な事例紹介を交えた内容とし、後半にはクラウドファンディングプラットフォームのMakuakeから森氏を招き、Makuakeの内容説明・プロジェクト実施についてのフォロー体制など具体的な講義を行っていただいた。セミナー後、個別相談会までの間であるが、積極的に質問されている事業所が多かったことから、自身や自社のビジネスにどのように活用するか具体的にイメージしてもらい、活用検討に至るファーストステップとなったと思われる。</p>							
	代表指標	参加企業のうちクラウドファンディング活用検討に至った企業数							
	数値目標	10社	実績数値	20.5社	目標達成度	205.0%			
	成果の代表事例	<p>参加事業者：Y氏 スポーツジム運営を行う法人を立てたばかりで、ジムを3月に開業予定としている。開業に際し、クラウドファンディングを活用したく受講された。個別相談会も希望され、クラウドファンディングのMakuakeではスケジュールが長くなるため、Campfireを活用しプロジェクトに取り組むことで方向性が決まった。</p>							
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>今回「やや不満」「どちらかといえば理解できなかった」「あまり活用したくない」の回答を行った事業所は、取り組む内容がボランティアであったり、商業系のことであったことから、モノづくりを中心としたセミナー内容に若干のずれがあったことが原因であった。すべての業種を網羅するセミナーについては時間の制約上難しいが、個別相談等を活用しそれぞれのニーズに合った相談を行っていただけるように働きかける。また、クラウドファンディングはマーケティング調査の要素が強くなってきており、以前にも増してプロジェクト実施に際し、プロジェクトページの見栄えも含めプロジェクト成功のためのノウハウを多く盛り込むことがカギとなり、小規模事業者・創業者にとって参入しづらくなってきている。今後も小規模事業者や創業者のプロジェクト達成をより高い精度にできるよう、今後もセミナーで最新の情報や有益な活用方法を提供して進めていき、検討する企業を一社でも多く出していきたい。</p>							

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

摂津市商工会

事業名		人財力強化（人材育成）事業							
想定する実施期間		2013 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>今後の中小零細企業の成長を支える上で、人財力の強化や活躍の場づくりが最も重要だと考える。とりわけ小規模事業者については、摂津市で約4249事業所のうち2978事業所と全体の70%を占め、茨木市も9132事業所のうち5889社と、全体の64%を占めている。(経済センサス調べ)</p> <p>2022年3月卒の中小企業の求人倍率5.28倍は300人以下の中小企業であるため、小規模事業所については、更に低いと感じられる。</p> <p>それゆえに、コロナ禍の現状において人材募集しても応募が無い「人材不足」、雇ったとしても続かない「育成力不足」が依然とした課題であるため、本事業をとおし、事業主・管理職・従業員を中心とした支援を行うことにより、安定した若手人材雇用と若手人材の定着をとおした業績向上をめざしてもらう。</p> <p>また、「OSAKAしごとフィールド」の企業向け支援事業の紹介を実施することで、中小零細企業の人材確保と育成を支援する。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市・茨木市の各事業所および周辺事業所の事業主および従業員							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>日時：令和5年3月7日(火) 14:00～16:00 場所：摂津市商工会 内容：動画で自社をプレゼン！求人動画の作り方 講師：HD AV代表 参加者数：11社 総支援企業数：10.5社</p> <p>＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞</p>							
		①府施策連携	おおさかしごとフィールドの紹介および利用促進を行った						
		②広域連携	茨木商工会議所と連携（募集活動・当日の準備・片付け作業等）						
	③市町村連携	市産業振興課窓口において、セミナーチラシを配布							
	④相談相乗	他事業においてカルテ化（カルテ件数2件）							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	10.5	支援実績率	52.5%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>これまでは、定着支援を目指した経営者や管理職をターゲットとした内容での実施とされていたが、中小零細企業のあまりの求人難に伴って、本事業を実施した。</p> <p>まだ、コロナの影響がある中、開催内容、開催時間についても考慮し実施したものの、計画数を大きく下回ってしまった。</p> <p>ただし、求人動画について、プロが凝った内容で作ったものでなく、一度作れば求人イベントやSNS、ホームページなど、多岐にわたって利用できることを理解いただき、セミナーの内容を自社で役立てたいと思った事業者が大半を占めた。</p> <p>また他社との情報交換についても役にたったと感じていただいた事業所が多く感じた。</p>							
		代表指標	セミナーの内容を自社で取り組もうと考えた事業所の割合						
		数値目標	70.0%	実績数値	95.2%	目標達成度	136.0%		
	成果の代表事例	A(株)の代表者から、次年度に講師の個別相談依頼を受けたため、本事業の内容を活かした動画作成により、従業員の雇用につなげた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降の取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>中小零細企業については、雇用確保や人材育成について、悩んでおられる状況が続いている。今回、自社の魅力をどう伝えて雇用につなげるかを動画を使ってプレゼンしていく内容での実施としたが、自社で動画を作成する能力が無い、必要性をなかなか理解しただけな状況であった。</p> <p>次年度は、労務をメインに担当している職員目線や、直接お客真の声を聴きやすい立場から、その時々々の需要にあった内容での実施を検討していきたい。</p>							

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

摂津市商工会

事業名

労働法改正セミナー～労務担当者が知っておくべき最新法令～

想定する実施期間

2017 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の概要

事業の目的
(現状や課題をどのような状態にしたいか)

毎年「働き方改革」に沿って法改正が行われ、中小企業といえども対応していかなければなりません。2022年からはパワーハラ防止法で従業員の相談に応じ、適切に対応するために必要な相談窓口を整備しないといけません。また、子供の出産後8週間以内に4週間まで男性従業員が産休を取得できる新たな制度が創設されます。これらの内容を事業所が理解するためには基本的な労務管理や労働保険、社会保険、労働法等の基礎知識が必要です。そこで本セミナーを実施することにより基礎的な知識から、最新の情報まで紹介します。セミナーでは日々事業所をアドバイスしている現役社会保険労務士による実践の現場の情報を多く取り入れ、自社について考えてもらい労働者に長く働いてもらう環境を自ら作ることができるようになることを目的とします。そうした取り組みにより、人手不足問題の解決策へと繋がります。

支援する対象
(業種・事業所数等)

中小企業の事業主並びに人事・労務担当者

実施時期・具体的な内容及び事業手法

令和4年9月26日(月) 「労働保険・社会保険(適用編)」
令和4年10月4日(火) 「労働保険・社会保険(給付編)」
令和4年10月13日(木) 「最新の法改正・労務トピックス」(パワーハラ防止用法・育休・大阪府制
<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>

①府施策連携	大阪府労働環境課より大阪府の制度説明
②広域連携	茨木市商工会議所と共催
③市町村連携	
④相談相乗	カルテ化5件

事業全体の実績/目標達成度

計画に対する実績(数値)

総支援企業数(計画)	55.0	総支援企業数(実績)	70.0	支援実績率	127.3%	満足率	98.4%
------------	------	------------	------	-------	--------	-----	-------

目標の達成度
(支援企業をどう変化させることができたか)

労働保険・社会保険の手続方法から入り、今年度のトピックスとしてパワーハラスメント防止義務及び改正育児介護法を説明しました。具体的には、パワーハラ防止の具体的な対策として、就業規則や研修の必要性、相談窓口の設置、対応方法について説明する。改正育児介護休業法では、制度内容から就業規則の追加内容、労使協定による条件の変更まで説明する。特に10月改正の育児休業法は、制度内容がとても複雑だが、今後の従業員の定着比率を上げるためには必ず押さえておかねばならない内容のため、講師が現在取り組んでいる事例を踏まえた説明は参加者に好評を得ました。結果、大阪府内中の大中小企業から問い合わせがあり申込社70社、申込95人と過去最高を記録しました。

代表指標 必要な労務知識について理解できた事業者の割合

数値目標	70%	実績数値	75.0%	目標達成度	107.1%
------	-----	------	-------	-------	--------

成果の代表事例

摂津市内の企業より相談を受ける。11月に男性従業員が育児休業を取得したいと相談されているとのこと。会社内では初めての育児休業なのでどうすれば良いのかとのこと。本セミナーの2回目では育休制度の詳細を説明するので受講を勧める。受講の結果、育児休業の4月、10月の変更内容から従業員の対応方法、ハローワークへの申請方法までを理解することができた。その結果、11月より育児休業給付申請を申請することができた。社内でも今後男性従業員が取得しやすい環境を整えるように検討していくとのこと。

その他目標値の実績

目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	
---------	--	---------	--	-------	--

実施結果

課題及び次期以降への取組み
(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)

参加企業のアンケートを見ると満足度は高く、申込者も過去最高を更新しています。これは毎年更新される労務管理の変更点を講師がわかりやすく説明できたからだと思えます。しかし、伸び率が少し鈍化してきたので来年度は広報についてもう一度考えたい。

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

摂津市商工会

事業名		人材の定着を図るための求人票作成セミナー							
想定する実施期間		2021 年度～ 年度まで ※複数年度段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	中小企業、零細企業の従業員の採用活動においては応募者が少ないので、人手不足に陥っている企業が多い。外国人の採用・雇用をしている会社があるが、コロナにより採用、活用をしづらく、近年の最低賃金の上昇により外国人を雇うコストは年々増えている。また、高齢者を新規採用している会社もあり経験を活かしてもらっている会社もあるが、ハローワークでの求人という無料かつオーソドックスな求人方法及び求人票の書き方を理解してもらい人材の採用に活かしてもらう。また、採用後、人材が定着しなければ意味がなく長期的に働いてもらう為には、職場の人材が定着するポイント及び職場改善による定着を理解してもらう。その結果、会社の事業の持続的発展ができる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	中小企業、零細企業の事業主、人事担当者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	競争の激しい人材の採用について理解及び人材が定着するポイント・職場改善による定着を理解してもらうことで、将来性豊かな長期的に働いてもらうことができる人材を確保してもらうことを目的とするセミナー・個別相談会を行う <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	府施策連携券12番						
②広域連携		四條畷市商工会と共催							
④相談事業相乗		カルテ化目標率-参加企業の10%							
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	56.5	支援実績率	188.3%	満足率	81.4%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	①欲しい人材に響く求人票の書き方の講義では、求人メディアの現状の紹介、伝わらない求人NGワード、求人票の活用ポイント・コピーライトのテクニックなどを紹介し具体的な求人票の書き方を学んでいたことで求人票改善に取り組んでもらうことができた。 ②ミスマッチを防ぐ採用面接のノウハウの講義では、実際の面接時の回答の仕方や魅力的な伝え方を学んでいたことで今後の面接に活かしてもらう。 ③人材の定着に繋がるポイントを学んでいただき【採用のミカタ】ツールを使用していただくことで、自社の現状を再認識してもらい、雇用環境の改善に取り組み人材の定着に繋げることでできた。講師が実際に取り組んでいる事例を踏まえた説明は参加者に非常に好評であった。また理解度の実績数値も80.5%と目標値を上回ることでできた。							
	代表指標	必要な人材の定着についての理解できた事業者の割合							
	数値目標	70%	実績数値	80.5%	目標達成度	115.0%			
	成果の代表事例	セミナー終了後、摂津市内の事業所の現在ハローワークに出している求人票を講師に特別に添削していただきました。その結果、具体的な求人票の書き方を習得していただくことができハローワークの求人票を改善したことで求人の応募があった。 また正社員・パートとのコミュニケーションの重要性を理解していただくことができ、それぞれのキャリアアップを考えるきっかけになり、長期的に人材育成を行う環境づくりに貢献できた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加企業のアンケートを見ると満足度・理解度・役立ち度と全ての項目で評価が高く、申込者も計画を大幅に上回ることができました。 企業ニーズとして人材の採用、定着に対する取組み、人材育成について学びたいという声が多く、また他企業との情報交換の場を設けて欲しいという相談を受けることがある為、次年度はオンラインだけではなく人材交流型の事業として実施することを検討したい。							

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

摂津市商工会

事業名		非対面ビジネスを通じたDX推進セミナー
想定する実施期間		2021 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>令和2年にパンデミックを引き起こした新型コロナウイルス感染症は、日本のみならず全世界の経済に大きな悪影響を及ぼした。特に、ソーシャルディスタンスの確保や人と人との接触機会を減らすムーブメントにより、人と人が直接的に会う対面ビジネスモデルでは売上の減少や人件費の削減に追われるなど、対応に苦慮する中小企業・小規模事業者が爆発的に増えた。</p> <p>新型コロナウイルスの感染防止をせざるを得なくなった結果、令和2年度を通じて非対面ビジネスに転じて事業を継続しようと考え、オンラインを用いた非対面ビジネスに転換しようとする中小企業・小規模事業者が多くなった。しかし、「非対面ビジネス」を行いたいものの、業種ごとにB to BであったりB to Cであるなど顧客が異なり、ビジネス課題も異なることから、どのITツールをどう活用すれば有効に使えるのかを適切に判断し実行に移している事業所は少ない。</p> <p>そこで、中小企業・小規模事業者に対し非対面ビジネスの推進を通じて事業所毎に適切なITツールの活用や社内のデジタル化を推進するなどDXを導入することにより各社の組織再構築を目指し、新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越え、更には2025年に到来が予想される「2025年の壁」にも対応できるよう事業力を強化する。</p>
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市、四條畷市、島本町、豊能町、能勢町及びこれらに隣接する地域に在住する全事業所の事業主及び担当者。
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>「全3回でコロナに負けず売上アップ・新事業展開につなげる！ 仕事の見える化セミナー」</p> <p>昨年実績：35社（3回のうちいずれか1回以上で申込の事業所数） 支援事業所数：33社</p> <p>2023年1月30日（月）14時～16時 第1回「今日の話は一粒万倍。DXのタネ!教えます」</p> <p>2023年2月6日（月）14時～16時 第2回「町工場からライフスタイルカンパニーへ それは、1本のねじから始まった。」</p> <p>2023年2月13日（月）14時～16時 第3回 「顧客獲得・WEBマーケティングセミナー」</p> <p>講師：第1回 大阪DX推進プロジェクトDX推進コンサルタント 折原 正博氏 第2回 (株)友安製作所 ソーシャルデザイン部担当執行役員 松尾 泰貴氏 第3回 (株)セブンアイズ 代表取締役 瀧内 賢氏</p> <p>第1回では社内をデジタル化するにもどんなツールがあるのかが分からない、お金がかかるのではないかなど戸惑うことがある方に向けて、無料でも使えるツールの説明から作業効率を上げるノウハウについてを実際にプログラムの実行画面を見せうえて分かりやすい説明を行った。</p> <p>第2回では、無料で使えるGoogleのサービス利用から始まったDX化の取り組みを通じ、現在EC・インテリア・カフェ・リフォーム・メディア等あらゆる分野へ進出を続けている(株)友安製作所による、DXを通じた新事業展開や社員のモチベーション向上・顧客ファンづくりの取り組みについてを説明して頂いた。</p> <p>第3回では、初心者でも分かりやすい解説を交え、無料でも活用できるSNSやGoogleマイビジネスを活用し、ウェブを通じて顧客獲得に効果的なキーワードを探すためのラッコキーワードの紹介等についての説明を行った。</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p>
	①府施策連携	大阪府産業創造課や大阪産業局大阪DX推進プロジェクトとの連携、大阪府DX推進パートナーズのFacebookページ等での周知を行った。
②広域連携	摂津市商工会が幹事で、四條畷市商工会、島本町商工会、豊能町商工会、能勢町商工会にて受講者を募集。開催当日において、各所担当者が協力して運営を行った。	
③市町村連携		
④相談相乗	基本的な内容から説明を行い実際の活用事例の回も踏まえることにより参加者の意識を高め、具体的な導入については専門家による相談事業にもつなげる。カルテ化件数10件。	

	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	32.0	支援実績率	106.7%	満足率	96.9%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>支援企業数の内訳は、四條畷市4社、島本町1社、豊能町4社、能勢町4社、摂津市12社、その他7社であった。今回の受講者アンケートでは、回答があった32名中27名が「満足」、4名が「ほぼ満足」と回答し、1名が「やや不満」であり96.9%の事業所が満足されていた。また、研修会の内容が理解できましたかという問いに対して、「理解できた」が23名、「どちらかといえば理解できた」が3名であり、「どちらかといえば理解できなかった」「理解できなかった」はなく、100%が大体理解できており、講師の説明も分かりやすかった。そして、今後の事業拡大に活用しようと思えますがという設問に対し、「活用していきたい」が18名、「活用を検討したい」が14名と回答し、「あまり活用したくない」「活用しない」がなく、100%が活用に意欲を見せている。本セミナーは第1回でDXについての基本的な部分からの解説を行い、第2回で実際に活用されている事業者の実例、第3回でWEB販路開拓のキーセンテンスについての具体的な内容としたことで、とっつきにくいイメージを持たれやすいDXをできるだけ取り組みやすいような内容とした。このことで、事業者にとって取り組みやすいものであるとイメージしてもらうことができ、活用検討に至るファーストステップとなったと思われる。</p>							
	代表指標	参加企業のうちDX導入の検討に至った事業所							
	数値目標	10	実績数値	32	目標達成度	320.0%			
	成果の代表事例	<p>K社 摂津市内で製缶などの製造を行う鉄工所である。当事業所は販路開拓に積極的であり、SNS活用にも前向きである。当セミナーの参加を通じてSNSでのキーワードの盛り込み方などの具体的な効果的な手法を学ばれており、会社に持ち帰り早速取り組まれている。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>初年度の反省を踏まえ、今年はDXについての初歩から学べる内容と、DXを巧みに組み合わせた(株)友安製作所の具体的なお話、ニーズのあるSNS・WEBマーケティングについての3段階構成で行った。新型コロナウイルスの影響は落ち着きつつあるが、生活の一点によりITを駆使した非対面ビジネスによるデジタル上でのつながりが当たり前となった。次年度もできるだけとっつきにくい専門的になりがちなセミナーを避け、ニーズの見込める作業の効率化やWEBマーケティングなどの内容を中心に、事業所に気軽に参加できる内容で企画をしていきたい。</p>							

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 商工会等支援事業実績報告書

摂津市商工会

事業名		三市一町合同就職面接会							
想定する実施期間		2014 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大阪府の2021年10月の有効求人倍率は1.12と近畿(1.06)の中では高い。しかし、完全失業率は3.6%(同年7月～9月)と全国値2.7%に比べると高く雇用のミスマッチが発生しています。特に、地元の中小零細企業では単独で求人を募集しても有能な人材の確保は難しく商工会・商工会議所に相談も多い。そのような両者を結び付ける機会を三市一町の自治体および会議所・商工会が連携するによって提供し、当地域の中小零細企業の雇用確保と求職者の雇用促進を図ることを目的とします。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、28社の中小企業及び求職者100名							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和5年1月24日(火) 13:00～16:00 摂津市立コミュニティプラザにて開催。 参加者数65名 面接応募総数48名 各相談会総数7名 セミナー26名。 参加企業29社 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携	大阪府労働環境課が「職場のお悩み相談」ブースを出展する。							
	②広域連携	3市一町(摂津市・高槻市・茨木市・島本町)の商工会議所・商工会・市と共同で実施する。							
③市町村連携	3市一町(摂津市・高槻市・茨木市・島本町)の商工会議所・商工会・市と共同で実施する。								
④相談相乗									
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	28.0	総支援企業数(実績)	29.0	支援実績率	103.6%	満足率	72.4%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	企業の申込者数は48社とブース数(29)より遥かに多く、非常に需要の高い事業です。満足度も72%と比較的高い数です。今回のフェアで求人を出しても応募が無かった企業が求職者と面接することができ採用に結び付いた事例があるため企業の人材難への解決に貢献できたと考えます。							
	代表指標	参加企業のうち採用に至った企業数							
	数値目標	5社	実績数値	6社	目標達成度	120.0%			
	成果の代表事例	A社は正社員の機械オペレーターを募集しているが、応募が無かった。そのために本事業を利用していただき、7名の応募があり2名採用することができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	100人	目標値(実績)	65人	目標達成度	65.0%			
		来場者数							
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	求職者数の参加を促す広報に力を入れましたが65名の参加となり前回(63名)と変動はありませんでした。今回は「セカンドライフに必要な公的年金の基礎知識」「iDeCoとNISAの概要」とセミナーを2つ開催し26名を集客しました。しかし面接応募者に誘導できなかったため面接応募者数への上澄みができませんでした。次回以降の課題とします。							